

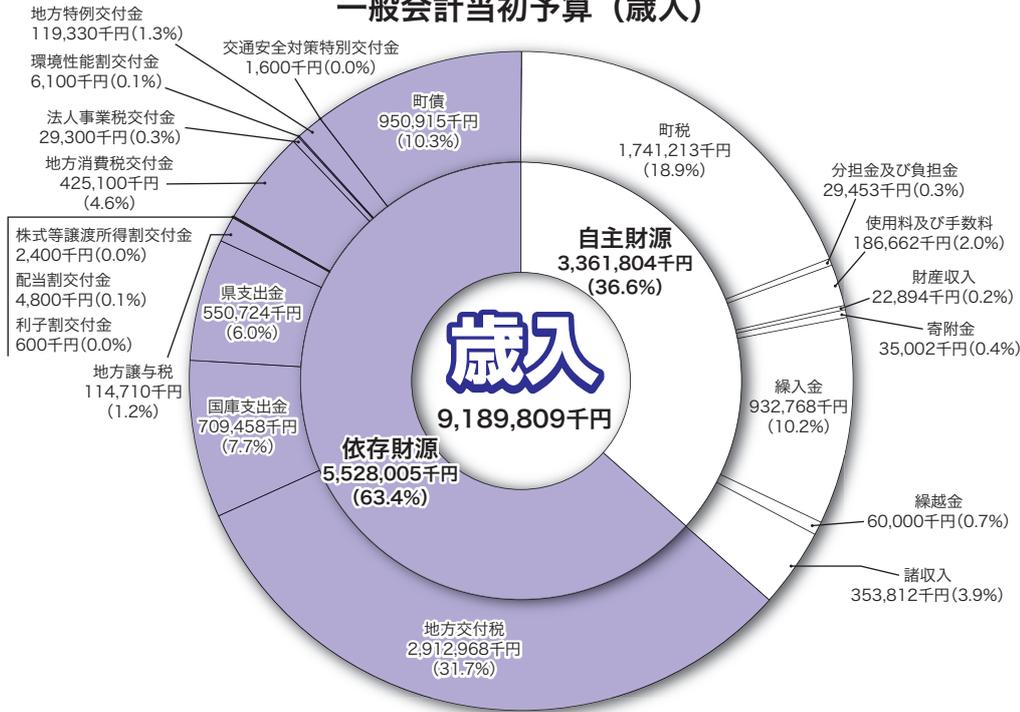
2024 (令和6) 年度 当初予算概要

令和6年度の予算総額は、147億388万円となり、前年度と比較すると4億3,683万円の減、増減率では2.9%の減となっています。また、一般会計の予算規模については、91億8,981万円となっており、前年度と比較して2億9,437万円、3.3%の増となっています。

会計名	6年度	5年度	対前年比
一般会計	91億8,981万円	88億9,544万円	3.3%
特別会計			
国民健康保険特別会計	16億7,723万円	16億7,589万円	0.1%
後期高齢者医療特別会計	2億3,137万円	2億1,039万円	10.0%
介護保険特別会計	17億6,198万円	17億6,153万円	0.0%
町営バス事業特別会計	1億104万円	9,343万円	8.1%
放射性物質対策特別会計	7,479万円	5億6,207万円	▲86.7%
企業会計			
病院事業会計	1億5,834万円	2億696万円	▲23.5%
水道事業会計	5億9,841万円	6億6,578万円	▲10.1%
下水道事業等会計	8億6,841万円	10億2,673万円	▲15.4%
宅地造成事業会計	4,250万円	4,249万円	0.0%
総計	147億388万円	151億4,071万円	▲2.9%

令和6年度の予算総額
147億388万円

一般会計当初予算 (歳入)



一般会計当初予算 (歳出・性質別)

(注) 計数はそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは合致しないものがあります。

- 自主財源…町が自ら収入することができるお金。町税や施設の使用料、窓口の手数料など。
- 依存財源…国や県から交付されるお金や借金。地方交付税や補助金、町債など。
- 義務的経費…支出のうち、その支出が義務づけられ任意に節減できない経費をいいます。極めて硬直性の強い経費です。一般に、人件費、扶助費および公債費の合計をいいます。家計に例えると、家賃や光熱水費、ローンの返済などに似ています。必ず支払わなければならない経費です。
- 投資的経費…支出のうち、その支出が資本形成に向けられるものをいいます。一般に、普通建設事業費、災害復旧事業費および失業対策事業費の合計をいいます。家計に例えると、家や車庫を建てるためのお金に似ています。

